

平成27年度 高等学校5年経験者研修（会場校研修）

芸術科「音楽Ⅰ」学習指導案

実施日時	平成27年10月13日（火）1限
実施講座	1年次3組・4組（男子12名・女子14名）
実施場所	音楽室
授業者	県立上尾鷹の台高等学校 教諭 木村 久美子

1 題材名 歌で世界をめぐる ―多様な歌の魅力―

2 題材について

(1) 本校の実態

本校は普通科の単位制高等学校であり、本校の特徴として『少人数・習熟度授業』があげられる。

- 1、2年次生では国語・数学・英語において、習熟度別に一講座25名程度で授業を実施している。
- 2、3年次生で設置されている選択科目においても、10名から20名程度で授業を実施している科目もあるため、教員の指導が行き届きやすい環境の中で、生徒たちは落ち着いて日々の学習に取り組んでいる。芸術科については、1・2年次生において選択必修となっており、3年次生では選択科目として「芸術Ⅲ（音楽Ⅲ・美術Ⅲ・書道Ⅲ）」及び専門科目（器楽・ビジュアルデザイン・絵画・陶芸・応用の書）が設置されている。

(2) 生徒の実態

音楽に対する思いを強くもっているが、集団の中では消極的な姿勢になってしまう生徒もみられる。また、メディア等の影響でよく知っている曲であれば、大きい声で歌うなどの高い意欲を見せるが、知らない曲に対しては積極的に取り組もうとしない生徒もいる。一方で、音楽的な技術や知識を豊富に持っており、より専門的な指導を受けたいと願っている生徒もいる。生徒たちが取り組みやすい、あるいは、取り組みたくなるような指導の工夫が必要であり、生徒間の個人差にも配慮することが課題となっている。

歌唱の授業では、毎時導入として、ストレッチや腹式呼吸練習、2度・3度音程の発声練習、そして、「コンコーネ1番」や既習曲による発声練習を取り入れてきた。腹式呼吸や発声方法に関するDVD等も視聴し、生徒たち自身も基礎・基本の大切さを認識し始めてきている。発声練習のバリエーションも増やしながらいずれも今後も継続して行っていきたい。1学期に取り組んだ歌唱曲は「Believe」「手紙」「世界に一つだけの花」「上を向いて歩こう」「故郷」「Santa Lucia」である。曲によって取り組む姿勢の差はあるが、授業を重ねるごとに、発声法を意識しながら自信をもって歌うことができるようになってきている。1学期には、リズムや旋律などの音楽的な要素を感じ取りながら歌うことに取り組んできたため、2学期は、歌詞の内容や楽曲の背景にも注目し表現の工夫につなげる学習を展開していきたい。

(3) 題材設定の意図

本題材は学習指導要領のA表現（1）歌唱のA「曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと」と、同じく歌唱のイ「曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと」を受けて設定したものである。異なる国・ジャンルの楽曲の歌唱を通して、歌詞の意味や楽曲の背景も汲み取りながら、自分なりのイメージや思いをもって表現豊かに歌唱していくことを目指していく。そして、それぞれの曲にふさわしい歌い方を追求していきたいと考え、本題材を設定した。本題材については、1学期に、イタリアの「Santa Lucia」を教材として取り組んで

おり、2学期も引き続きヨーロッパ地域の音楽、3学期にはアジア地域の音楽について取り組んでいく。国際社会の中で、自国の文化はもちろん多文化を大切にする姿勢が求められており、本題材を通して国際的な視野や多文化尊重の姿勢も身につけさせていきたいと考える。

3 題材の目標

- (1) 楽曲の背景や音楽的な特徴、歌詞の内容に関心を持ち、ふさわしい歌い方を考えながら主体的に歌唱活動に取り組むようにする。(音楽への関心・意欲・態度)
- (2) 曲想を生み出す音楽的な特徴(リズム、旋律、テンポ、音階)を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、自分の思いや意図をもって表現を工夫するようにする。(音楽表現の創意工夫)
- (3) 楽譜に書かれていることを正確に読み取り、発音や抑揚、呼吸法、声の響かせ方に気を付けながら、イメージをもってそれぞれの曲にふさわしい歌い方を身に付けるようにする。(音楽表現の技能)

4 教材について

◆「ダニーボーイ」 作詞：F.E.ウィザリー アイルランド民謡

アイルランド民謡「ロンドンデリーの歌」として知られる旋律を原曲にしている。歌詞は親元を離れて暮らす息子を思う歌心が歌われている。この楽曲の旋律をもとに「You Raise Me Up」が作曲されたことが有名なエピソードとしてある。ゆったりとしたテンポ感の中で旋律美が感じられる楽曲であり、旋律の美しさを生かす発声法を学習していく。

◆「おおシャンゼリゼ」 作詞：P.ドラノエ 作曲：M.ディガン

もともとは英語の原曲であり、フランスの作詞家ドラノエがパリのシャンゼリゼ通りを舞台にしてフランス語の歌詞をつけたフレンチ・ポップスである。日本でもCMソングとして使われたため、聴いたことのある生徒も多くいる楽曲である。リズムカルで明るい曲調を感じ取らせながら表現の工夫へつなげていく。

5 評価規準(題材の評価規準及び学習活動における具体の評価規準)

	ア 音楽へ関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材の評価規準	①楽曲の背景や曲想、歌詞が表す心情や情景に関心をもって、主体的に歌唱活動に取り組もうとしている。 ②それぞれの楽曲の音楽的な特徴の違いに関心を持ち、曲にふさわしい歌い方や発声方法で歌おうとしている。	①リズム、旋律、速度を知覚し、それらの働きが生み出す楽曲の雰囲気や曲想を感受している。 ②曲想を楽曲の背景や歌詞が表す心情・情景とかかわらせて感じ取り、自分の思いや意図をもって曲にふさわしい歌い方を工夫している。	①イメージをもって歌うために必要な読譜力を身に付け、音程やリズムに気を付けて歌っている。 ②イメージをもって歌うために必要な発声方法(発音、抑揚のつけ方、呼吸法、声の響かせ方)を身に付けて歌っている。
1時	①		①
2時	①		①
3時		①	②
4時	②	②	

6 指導と評価の計画（4時間扱い）

時	◆ねらい ・学習活動	【評価規準】 <評価方法>
1	◆曲想と歌詞の内容、楽曲の背景のかかわりに関心をもつ。	【音楽への関心・意欲・態度①】 曲想や歌詞の内容、楽曲の背景、民謡に関心をもって主体的に聴いたり歌ったりしている。 <活動観察><プリント> 【音楽表現の技能①】 イメージをもって歌うために必要な読譜力を身に付け、音程やリズムに気を付けて歌っている。 <演奏><プリント>
	『ダニーボーイ』 ・範唱を聴き、歌詞・リズム・旋律を聴き取る。 ・歌詞唱を行い、曲全体を把握する。 ・曲想や音楽的な特徴、歌詞が表す情景や心情について考え、再度歌ったり聴いたりする。 ・資料等から楽曲背景や民謡、この曲がもとになってつくられた歌について知り、本国や世界中で歌い継がれる歌の存在に気づきながら楽曲への関心を高める。	
2 本 時	◆曲想と歌詞の内容、楽曲の背景のかかわりに関心をもつ。	【音楽への関心・意欲・態度①】 曲想や歌詞の内容、楽曲背景に関心をもって主体的に聴いたり歌ったりしている。 <活動観察><プリント> 【音楽表現の技能①】 イメージをもって歌うために必要な読譜力を身に付け、音程やリズムに気を付けて歌っている。 <演奏><プリント>
	『おおシャンゼリゼ』 ・範唱を聴き、歌詞・リズム・旋律を聴き取る。 ・歌詞唱を行い、曲全体を把握する。 ・曲想や歌詞が表す情景や心情、背景について考え、再度歌ったり聴いたりする。 ・資料等から楽曲の背景（パリ・シャンゼリゼ通り）について知り、自分なりのイメージを膨らませながら楽曲への関心を高める。	
3	◆音楽を形づくっている要素（リズム・旋律・テンポ）を知覚し、その働きを感受する。	【音楽表現の創意工夫①】 リズム、旋律、速度を知覚し、それらの働きが生み出す楽曲の雰囲気や曲想を感受しながら歌っている。 <活動観察><プリント> 【音楽表現の技能②】 イメージをもって歌うために必要な発音法や言葉の言い回し、呼吸法、声の響かせ方を身に付けて歌っている。 <演奏><プリント>
	『ダニーボーイ』『おおシャンゼリゼ』 ・音程やリズムに気を付けて歌う。（復習） ・リズムや旋律の流れ、速度を感じ取りながら2つの楽曲を比較する。 ・それぞれの楽曲の音楽的な特徴を知覚しそれらの働きを曲の雰囲気や曲想とかかわらせて感じ取りながら、再度歌ったり聴いたりする。 ・発音法や言葉の言い回し、呼吸法、声の響かせ方を意識し、歌唱技能を身に付ける。	
4	◆歌詞の内容や楽曲の背景、音楽的な特徴を生かし、曲にふさわしい歌い方を創意工夫する。	【音楽への関心・意欲・態度②】 それぞれの楽曲の音楽的な特徴の違いに関心を持ち、曲にふさわしい歌い方や発声方法で歌おうとしている。 【音楽表現の創意工夫②】 曲想を楽曲の背景や歌詞が表す心情・情景とかかわらせて感じ取り、曲にふさわしい
	『ダニーボーイ』『おおシャンゼリゼ』 ・楽譜やプリントに書いた内容を見ながら、これまでの学習内容を振り返る。曲想を生み出す音楽的な特徴や楽曲の背景、歌詞の内容を意識しながら歌う。 ・楽曲に対する自分のイメージをお互いに意見交換しながら、曲に	

ふさわしい歌い方を考える。発表し全体で共有する。 ・それぞれの楽曲にふさわしい発声方法や音色を試行錯誤しながら歌い、歌唱表現を追求する。	歌い方を工夫しながら歌っている。
---	------------------

7 本時の学習指導（2 / 4）

（1）本時の目標

①楽曲の雰囲気や歌詞が表す情景や心情に関心を持ちながら主体的に歌唱活動に取り組む。

【音楽への関心・意欲・態度①】

②イメージをもって歌うために必要な読譜力を身に付け、音程やリズムに気を付けて歌う。

【音楽表現の技能①】

（2）展開

	○学習内容 ・学習活動	●指導上の留意点 ☆具体的評価規準<評価方法・手だて>
1 導入 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・号令・点呼 ・体ほぐし・呼吸練習・発声練習 ・既習曲「校歌」「少年時代」 	<ul style="list-style-type: none"> ●腹式呼吸を意識させ、ブレスが浅くならないように注意させる。 ●校歌を元気よく歌わせ、授業の雰囲気づくりをする。 ●歌唱チェック表を確認させ、姿勢や発声法を意識させる。 ●つまづく箇所があれば音取りやリズムの確認をする。
2 展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> ○「おおシャンゼリゼ」の模範唱を聴く。 ・どんな雰囲気や印象を感じたかプリントに記入する。 ○歌詞の内容や背景について理解する。 ・説明を聴き、曲の舞台や歌詞の内容について理解する。 ○音取りをする。 ・音程やリズムに気を付けて歌う。 ○楽曲への関心を高めイメージを膨らませる ・調性等を変化させた旋律との聴き比べをしながら、楽曲の雰囲気を感じ取る。 ・続きの歌詞の内容を読み取り、歌詞の内容と曲想とのかかわりに気づく。 ・歌詞の内容や背景、曲想に注目し再度模範唱を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて繰り返し聴かせる。 ●資料としてパリ・シャンゼリゼ通りの写真を提示する。パリの人にとってどんな場所であるか説明する。 ●一方的な説明にならないよう生徒へ質問しながら説明していく。 ●腹式呼吸を意識させ、ブレスが浅くならないように注意させる。 ●つまづく箇所があれば音程やリズムの確認を丁寧に行う。 ●一方的な説明にならないよう生徒へ質問しながら説明していく。 ●聴き比べをすることにより、明るくリズムカルな楽曲の雰囲気を感じ取らせる。教科書には載っていない2番と3番の歌詞も提示し、歌詞の内容と曲想とのかかわりにも気づかせる。 <p>☆ア—①<活動観察・プリント></p> <p>※Bと判断する状況は、楽曲の雰囲気を進んで感じ取り、歌詞が表す情景や心情、背景を読み取ろうとしている。読み取ったことを自ら発言したり他者の発言を聞いたりしながら、歌詞の内容と曲想とのかかわりに気づき、楽曲への関心を高めている。</p> <p>※Aと判断する状況は、楽曲の雰囲気を進んで感じ取り、歌詞が表す情景や心情、背景を読み取ろうとしている。読み取ったことを自ら発言し</p>

	<p>○歌唱技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の雰囲気や歌詞の内容を感じ取りながら積極的に歌唱に取り組む。 ・ 楽譜に書かれていることに注視し、音程やリズムに気を付けて歌う。 	<p>たり他者の発言を聞いたりする活動を通して、歌詞の内容と曲想とのかかりについて主体的に考え楽曲を理解しようとしている。自分なりのイメージを膨らませながら楽曲への関心を高めている。</p> <p>※Cと判断される生徒への手だて</p> <p>学習内容について理解していない点を個別に説明したり指導したりする。他の生徒の意見や考えに耳を傾けるよう働きかけ、自分自身の考えを広げるきっかけとさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ピアノの周りに集め、メロディーのリズム感や楽曲の明るい雰囲気を感じ取りやすくするとともに、皆で声を合わせ歌わせる。おしゃべり等が始まってしまわないように生徒の様子を注意深く観察する。 ● 歌詞だけではなく楽譜の音符にも目を向けさせ、跳躍の音程や伸ばす拍の長さに気をつけさせる。つまづくようであれば繰り返し練習させる。 <p>☆ウー①<演奏・プリント></p> <p>※Bと判断する状況は、歌詞が表す情景や心情と楽曲の雰囲気とのかかりについて気づいたことや考えたことをもとに、イメージをもって歌うために必要な読譜力や歌唱技能を身に付けようとして努力し、音程やリズムに気を付けて歌っている。</p> <p>※Aと判断する状況は、歌詞が表す情景や心情と楽曲の雰囲気とのかかりについて気づいたことや考えたことをもとに、イメージをもって歌うために必要な読譜力や歌唱技能を身に付ける努力を進んでいき、他の生徒の模範となっている。音程やリズムを正確に身に付けようとして積極的に歌っている。</p> <p>※Cと判断される生徒への手だて</p> <p>発声法が十分にできていないために音程が不安定であることが考えられるため、まずは腹式呼吸を意識しているか、口やのどが十分開いているかなど基礎的な発声法が身についているか確認していく。ピアノの音で旋律を聴かせたり男女別に歌わせたりしながら、音程やリズムを聞き取りやすくなるように工夫する。</p>
<p>3 まとめ 5分</p>	<p>○本時の学習内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の振り返り、次回に向けての目標、自己評価を記入する。 	